

<定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

※◎:警報レベル

○:注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県)
	第27週	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(48)			(20)			(5)			(10)			(13)			
インフルエンザ	428 0.09																16171
小児科定点 (定点医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	1467 0.46	2 0.07		▼							2 0.33		▼				353
咽頭結膜熱	2037 0.64	16 0.53	37 1.23	△	4 0.31	11 0.85	△		2 0.67	△	10 ◎1.67	20 ◎3.33	△	2 0.25	4 0.50	△	594
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7300 2.31	62 2.07	64 2.13	△	31 2.38	37 2.85	△	1 0.33		▼	21 3.50	16 2.67	▼	9 1.13	11 1.38	△	3200
感染性胃腸炎	15824 5.00	123 4.10	158 5.27	△	56 4.31	75 5.77	▲	7 2.33	15 5.00	▲	34 5.67	28 4.67	▼	26 3.25	40 5.00	△	4886
水痘	1221 0.39	9 0.30	15 0.50	△	2 0.15	2 0.15			4 1.33	△	7 1.17	5 0.83	▽		4 0.50	△	405
手足口病	5336 1.69	84 2.80	116 3.87	▲	64 4.92	87 ◎6.69	▲	17 ◎5.67	20 ◎6.67	▲	3 0.50	7 1.17	▲		2 0.25	△	603
伝染性紅斑	1028 0.33	16 0.53	13 0.43	▼		1 0.08	△				16 ◎2.67	12 ◎2.00	▼				283
突発性発しん	1724 0.55	23 0.77	20 0.67	▽	9 0.69	5 0.38	▽	2 0.67	1 0.33	▽	5 0.83	7 1.17	△	7 0.88	7 0.88		451
ヘルパンギーナ	4653 1.47	82 2.73	172 5.73	▲	45 3.46	78 ◎6.00	▲	1 0.33	1 0.33		36 ◎6.00	90 ◎15.00	▲		3 0.38	△	460
流行性耳下腺炎	642 0.20	3 0.10	3 0.10		1 0.08	2 0.15	△	2 0.67		▽					1 0.13	△	84
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	14 0.02																
流行性角結膜炎	646 0.93		4 0.50	△								1 1.00	△		3 1.50	△	62
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	8 0.02																20
クラミジア肺炎	5 0.01																
マイコプラズマ肺炎	104 0.22	2 0.20	1 0.10	▼	1 0.25	1 0.25					1 0.50		▽				71
細菌性髄膜炎	5 0.01		1 0.10	△		1 0.25	△										7
無菌性髄膜炎	10 0.02																4

<全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	患者				1	
腸管出血性大腸菌感染症	患者			5		型別:O157 VT1VT2 5人
E型肝炎	患者				1	
レジオネラ症	患者	1				
クロイツフェルト・ヤコブ病	患者			1		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	患者	1				
百日咳	患者	3	1			※内、第27週追加報告1人。 ワクチン接種歴:4回3人、不明1人。大人1人、小児3人。

<通信欄>

※トピックスで、腸管出血性大腸菌感染症、「夏かぜ」(ヘルパンギーナなど)について掲載しています。

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ															
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									合計
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症															
咽頭結膜熱		9	11	4	3	5	2	1		2					37
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			5	8	7	7	16	3	7	3	4	4			64
感染性胃腸炎	2	15	26	11	17	13	12	11	11	8	6	23	2	1	158
水痘	1	1		2		5		3	2		1				15
手足口病		10	27	31	16	16	5	8	1			1	1		116
伝染性紅斑				2	2	1			2	2		4			13
突発性発しん		8	11		1										20
ヘルパンギーナ	1	14	42	39	27	15	16	5	6	3	2	1	1		172
流行性耳下腺炎						1					1	1			3

< 平成30年5月 月報 >

2018年6月27日 発行

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～5月
	4月	5月	4月	5月	4月	5月	4月	5月	4月	5月	
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)		
性器クラミジア感染症	報告数 14	24	7	13	5	6	2	3		2	98
	定点当り 1.40	2.40	1.75	3.25	5.00	6.00	1.00	1.50		0.67	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数 11	6	4	2	3	1	3	2	1	1	45
	定点当り 1.10	0.60	1.00	0.50	3.00	1.00	1.50	1.00	0.33	0.33	
尖圭コンジローマ	報告数 3	3	1	1				1	2	1	14
	定点当り 0.30	0.30	0.25	0.25				0.50	0.67	0.33	
淋菌感染症	報告数 2	5	2	2				1		2	14
	定点当り 0.20	0.50	0.50	0.50				0.50		0.67	
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)		
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数 11	7		2	2			1	9	4	36
	定点当り 1.10	0.70		0.50	2.00			0.50	3.00	1.33	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数 18	13	11	5	1	2		1	6	5	85
	定点当り 1.80	1.30	2.75	1.25	1.00	2.00		0.50	2.00	1.67	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数										
	定点当り										

<トピックス>

腸管出血性大腸菌感染症 情報

第28週に、置賜地区で腸管出血性大腸菌感染症の患者が5名(O157 VT1VT2 :5名)報告されています。

・感染者の内訳 (平成30年第1週からの合計)

	O8	O26	O115	O121	O157	OUT*	総計
村山地区		2	1		2	1	6
最上地区							0
置賜地区	1				5		6
庄内地区				3			3

※OUT: O-antigen untypeable

腸管出血性大腸菌感染症とは

ベロ毒素を産生する大腸菌(腸管出血性大腸菌)に汚染された食べ物を経口摂取することによっておこります。3～5日の潜伏期間の後、激しい腹痛とともに頻回に水様便が出るようになり、のちに血便となります。溶血性尿毒症症候群や脳症を合併し、重症化する場合があります。

原因となる食品は肉や野菜など様々です。夏季に多く発生し、山形県では過去5年間の腸管出血性大腸菌感染症の報告の約半数が7～8月に報告されています(図1)。

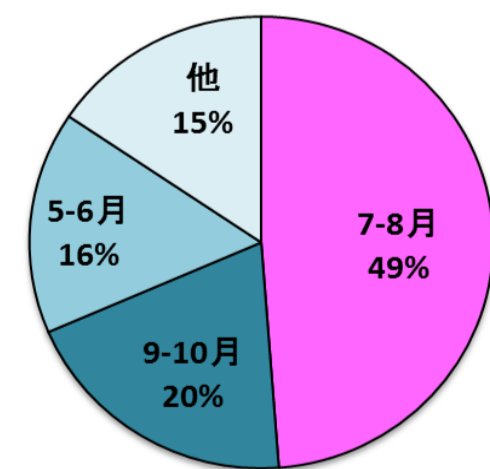


図1: 月別報告数(2012-18年)

予防のポイント

- ① 菌をつけない
手洗いを徹底し、清潔な布巾や調理器具を使いましょう。
- ② 菌を増やさない
食品はすぐに冷蔵庫に保存し、常温に放置しないようにしましょう。
- ③ 菌をやっつける
食品の加熱は中心まで、75℃、1分以上加熱しましょう。

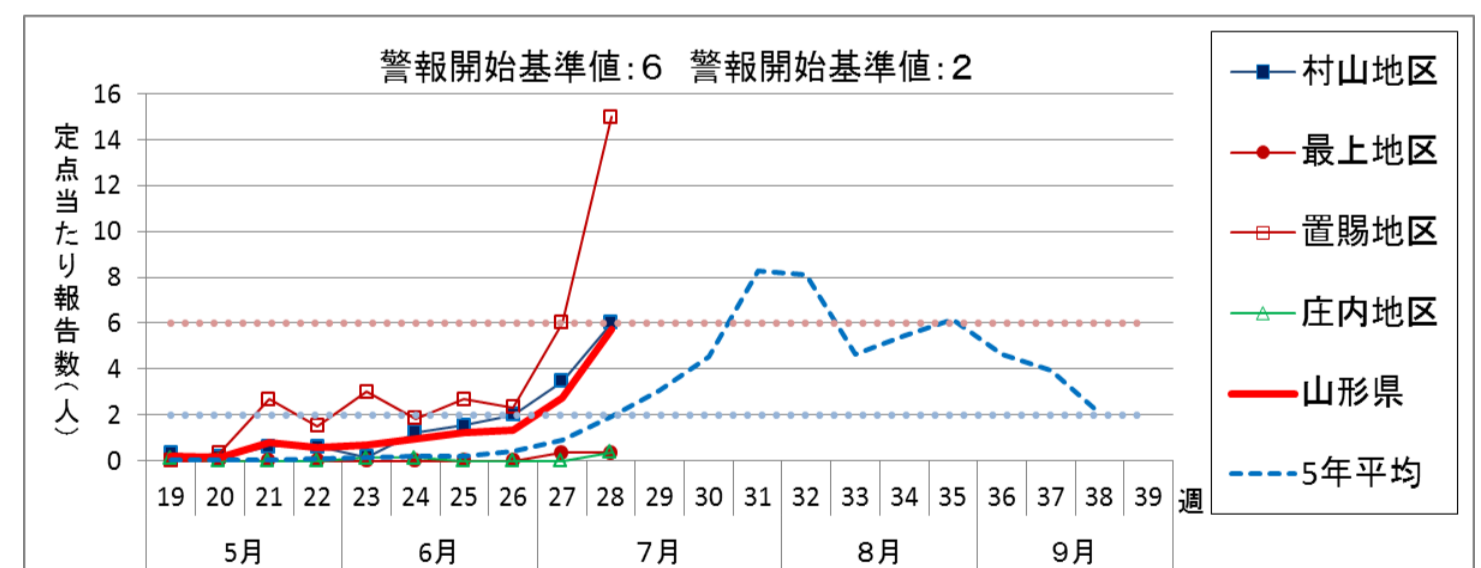


「夏かぜ」情報

夏季はヘルパンギーナ、手足口病、咽頭結膜熱など、「夏かぜ」と呼ばれる感染症が流行します。第28週の県全体の報告数は、ヘルパンギーナの報告数が前週の2倍となり、手足口病と咽頭結膜熱も報告数が増加しています。

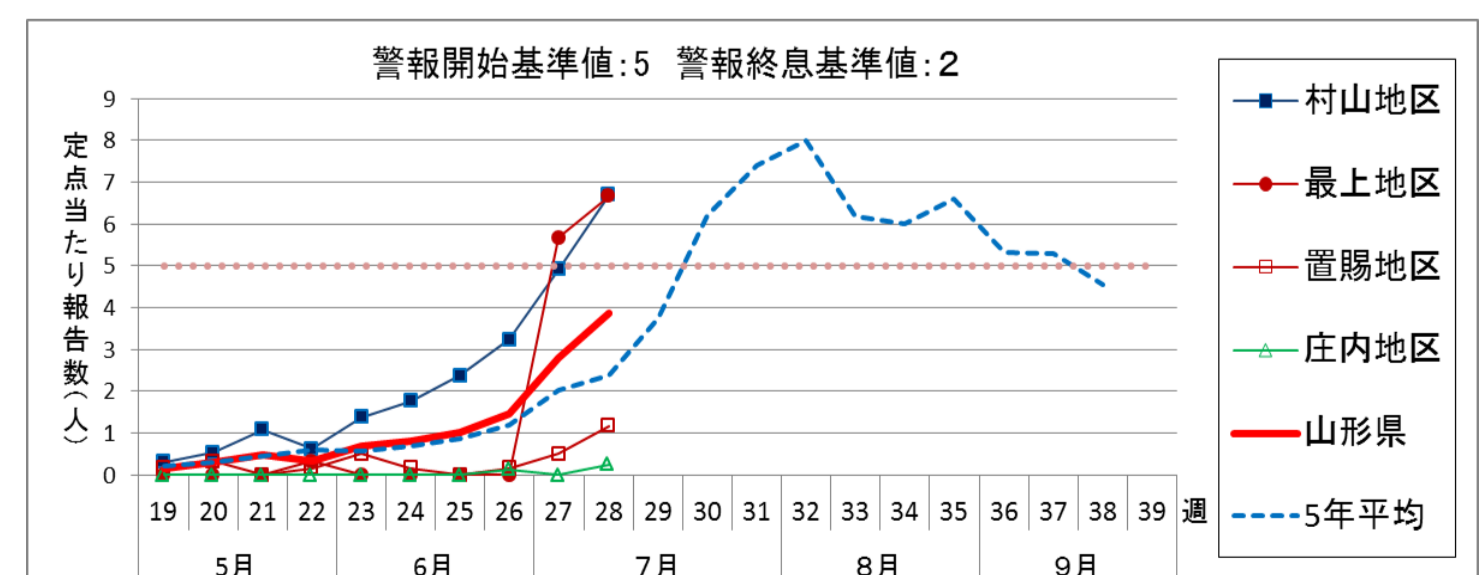
①ヘルパンギーナ

第28週は、村山地区と、置賜地区で警報レベルとなっています。



②手足口病

第28週は、村山地区と、最上地区で警報レベルとなっています。



予防のために、手洗い・うがいを徹底しましょう。特に、ヘルパンギーナと手足口病は、回復後も便中に2～4週間にわたり、ウイルスが排泄されますので、おむつ交換やトイレの後は入念に手を洗いましょう。

